



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを生涯の誇りに
できる生徒の育成
5月号 平成30年5月24日

狛江市立 狛江第一中学校

スーパーアティブスクール
狛江市 和泉本町 2-15-1
TEL 03 (3480) 0121

「時には一人になることも・・・。」

副校長 荒田 勉

新しい学年が始まり、1ヶ月が経ちました。先日、校長先生との会話の中でこんな話がありました。校長先生がある部活動の公式戦を応援しに行ったときのこと、試合が終わり勝利の余韻に浸っている生徒の姿を見て、さあ、帰ろうと会場を後にしようとしたとき、2人の3年生が遠くから駆け寄ってきて、「校長先生、今日は試合の応援に来て下さってありがとうございました。」と言いに来てくれたそうです。そんな彼らの精神的な成長を喜んでいました。

自分のことだけでなく支えてくれている周りの人への感謝の気持ちを持ち、それを素直に表現できる。このような一中生の成長に、話を聞いた私自身もうれしく思いました。

この2人のように素直に自分の気持ちを表現できる子もいれば、そうでない子もいます。

思春期真っ只中の中学生、素直に自分を表現できず、思っていることと反対の言葉を言ってみたり、大人にとっては何でもないことにひどく傷ついたり・・・。

なりたい自分となれない今の自分とのギャップにいらだち、他人からの評判や評価を必要以上に気にし、思い悩むこともあるでしょう。心も体も成長するこの貴重な時期、この大切な時期だからこそ、時に一人になり自分自身に問いかける時間が必要だと私は思います。

「今日の自分、頑張ったな。いやもっと頑張れるはずだ。」「明日どんなことを友達に言おうかな。」「今度の体育祭はこんなことやってみたい、部活ではこんなことやってみよう。」逆に友達とうまくいかず「ツライな。会うのが嫌だな、明日は会わないようにしよう。」など、時にマイナス思考になることもあるでしょう。

このように自分自身に語りかけ、次の自分を決めていく。どんなことであっても自分で決めた事は、周りが決めた事よりも価値があります。時に立ち止まり、後退することもありながら、自己決定をし、自己実現に向けて自分の力で前に進み出します。

友達や携帯、テレビやインターネットから少し離れて一人になる時間を作る、あるいは私達大人があえてその時間をつくってあげることも必要なのではないのでしょうか。

いよいよ来週から体育祭に向けての練習が始まります。今、各クラスで学級目標も決まりました。それぞれのクラス目標のもと子ども達が自分で考え、行動し、仲間や先輩、後輩に自分の思いを語る。今年もそんな成長した一中生の姿を沢山見ることのできる体育祭になりそうです。たくさんの方の保護者の方の参観をお待ちしています。

部活動の様子

一年生の本入部も始まり各部活動大会やコンクール、行事に向けて頑張っています！5/17, 18日に活動していた部活動を掲載しました。



一中生頑張ってます！

1年5組 田宮くん 東京都スポーツライミング選手権
リード種目ジュニア男子第二位、スピード種目ジュニア男子 第二位
バレーボール部 9ブロック春季大会 準優勝 都大会出場！